

社協だより しあわせ

猪苗代町社会福祉協議会

第93号
 令和6年3月10日発行
 猪苗代町社会福祉協議会
 TEL(0242) 62-5168
 FAX(0242) 62-5183
 猪苗代町地域支援包括センター
 TEL(0242) 72-1530
 猪苗代町大字千代田字中島 26-2
 HP: <http://inawashiro-shakyo.or.jp>

「防災・減災学習」～地域と共に生きることを考える力～



避難所でできることを皆で考えよう！！

2月9日に猪苗代中学校の2年生を対象とし、防災・減災学習が行われました。



講師に福島県立博物館主任学芸員筑波匡介さん、日本赤十字社福島県支部野崎謙司さん、磐梯山ジオパーク協議会蓮岡真さんの3名を迎えて身近な物(新聞紙)で避難グッズを作り、実際に履いて歩いてみたり、毛布をガウンのように着こなす等の活用方法、磐梯山が噴火して以降、磐梯山周辺での植林などによる防災・減災の取り組みについて、また避難の仕方など様々なテーマを学びました。

一月に起きた能登半島地震では、避難所での中学生が活躍しているニュースが報道されています。最近ではいつどこで災害が起きるか分かりません。自分には何ができるのかを考え、災害時の3つの助

・ 自助 (自分自身や家族で備える)

・ 共助 (地域で助け合う)

・ 公助 (国・地方公共団体などが取り組む)

を意識し、自助、共助の力を高めることが減災にはとても大切なことであるとのことでした。



赤い羽根共同募金

この度、猪苗代小学校の児童の皆さんから、赤い羽根共同募金が募集する令和6年能登半島地震への義援金と寄付金を頂戴しました。ありがとうございました。

赤い羽根共同募金は、社会変化の中、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、様々な地域福祉のかだ解決に取り組む民間団体を応援する「じぶんの町を良くするしくみ」に取り組んでいます。

その活動は、地域で取り組む自主的な福祉活動（こども食堂、一人暮らし高齢者の見守り、子育てサロン、地域支え合いづくりなど）に対する女性や、減災、防災活動の支援などを行っています。



猪苗代小学校より



令和6年能登半島地震災害義援金に

町内の企業、団体、個人の方々からたくさんの温かいご支援を頂きましてありがとうございます。皆様から頂きましたご寄付は日本赤十字社から被災都道府県に設置する義援金配分委員会へ全額お送りします。



猪苗代町及び猪苗代町民の皆様から頂いた

募金額 1,261,219 円



※2月末日現在

日本赤十字社福島県支部猪苗代町分区では引き続き、皆様からのご寄付を受付けております。詳細につきましては猪苗代町社会福祉協議会内までお問い合わせください。



猪苗代町及び猪苗代町職員互助会より

たくさんのご協力ありがとうございます。



NHK海外たすけあい募金



日本赤十字社とNHKが毎年12月に実施しているキャンペーンです。猪苗代町分区でも各団体、企業、学校等のご協力のもと募金活動が行われました。

12月7日(金)に猪苗代町赤十字奉仕団と猪苗代高等学校JRCインターアクト委員会にご協力いただき、寒い中リオン・ドール猪苗代店及びヨークベニマル猪苗代店で街頭募金を行いました。

募金額 49,424 円



12月8日(土)には猪苗代町吹奏楽団主催で開催された2023いなわしろチャリティー音楽祭にて猪苗代町赤十字奉仕団と猪苗代高等学校JRCインターアクト委員会、猪苗代中学校生徒会及び猪苗代町吹奏楽団の方々にご協力いただき募金活動を行いました。当日は写真家の関口照生さんの展示会や女優の竹下景子さんの朗読会もあり、たくさんの方にご協力いただきました。

募金額 117,575 円



リオン・ドール猪苗代店前



猪苗代町体験交流館内

サロン通信

令和3年11月に第一回を開催してからコロナで2回ほど休会した以外は毎月開催しています。

活動内容はおしゃべりお茶会、ロコモ体操、新年会、クリスマス会、ゲーム大会、お花見、紅葉狩り、出前講座依頼、生花教室、料理（大福餅作り、たこ焼きパーティー）、バス旅行、2月はお楽しみ中ノ沢温泉を企画しました。毎週一回ラジオ体操から始まる介護予防体操も継続しながら今後も、声をかけあって近隣相互の親睦をはかりながら、地区の方々の理解協力をお願いしたいと思います。

幸野サロン



世話人 渡部洋子さん



生け花教室

扇田サロン



世話人 山田澄子さん (左)
古川美智子さん (右)

月に一回、ラジオ体操、早口言葉で体をほぐしてから始まります。ゲームや各種講座、年一回のバス遠足も開催。何よりみんなであって、喋って笑う事が一番かな？



体操教室



バス遠足



青空学校 (長坂地区)



世話人 黒澤 孝さん

現在10名ほどの参加者がおり、夏は畑でお茶飲みサロン、冬は毎月一回、長坂にある集会所でゲームや頭の体操、講話などを行っています。去年は子ども食堂まんなとの交流会を行い、子どもたちと一緒に大根の収穫体験を行い、豚汁を子どもたちに振舞いました。その他にもバス遠足でいわき市へ行ったきり、忘年会では長浜の遊覧船や天鏡閣へ行ったりもしました。参加者たちは集まって喋ったりするだけでも楽しいと毎回サロン活動を楽しみにして参加しています。



スカットボールを楽しむ様子

島田つきいちの会

島田つきいちの会とは、島田地区コミュニティセンターが新築されたのを機会に、月一回地区民の親睦交流を目的としているサロンです。現在女性11名で運営し、地区独自の活動として料理教室・新年会・温泉入浴会等と、社協さんのプログラムから選んだバスハイキング・体操・各種講話等を年間行事として活動しています。いつも和気あいあい話しに花が咲き、楽しいひと時を過ごしています。



世話人 渡部 幸枝さん



バス遠足

令和5年度全国社会福祉協議会長表彰

12月19日に猪苗代町役場で表彰状伝達式が行われ、猪苗代町民生・児童委員 佐藤美晴会長の長年の功績が称えられました。現在まで約15年間同委員を務め、平成28年12月からは会長として貢献してきました。

佐藤会長は「皆様のご協力のおかげで受賞できました。これからも地域福祉に貢献していきます。」と受賞の喜びを話されました。



遠藤社協会長 佐藤会長 二瓶町長

緑小学校で高齢者疑似体験！！

2月20日に緑小学校で4年生を対象に高齢者疑似体験が行われました。視野の狭くなるゴーグル、音が聞こえにくくなるようヘッドセット、関節が曲がりにくくなるサポーターを装着し校内を歩き、高齢者がどのような思いで日々の生活を送っているのか実体験しました。参加した子どもたちは「見えづらい」や「本をめくるのが難しい」などといつもとは違う感覚に四苦八苦していました。

今回の体験を生かし、高齢者にも目を向けて困っている人を見かけたら声をかけて手を差し伸べてほしいです。

「ゴーグルとヘッドセットをおくと見えない何も聞こえない世界にいると思えました。あと色が暗く見えてました」

参加した児童の感想



疑似体験中の様子

お元気クラブ活動

《高齢者生きがい活動支援通所事業》



この事業は、町の高齢者が元気はつらつと生きがいを持って生活できるように、中ノ沢にある老人福祉センターへ通いながら温泉に入浴したり運動やレクリエーションなどを実施しています。

11月には今年の干支である辰にちなんで「桐のこ人形」に絵付けをしました。2月には「雛人形」を制作するなど活動を行っています。

※申し込みには猪苗代町役場保健福祉課に備え付けの申請書に必要事項を記入の上、保健福祉課窓口へ提出してください。

老人福祉センター

- ・利用時間 午前9時～午後4時30分
(入浴の受付時間は午後3時30分まで)
- ・休館日 毎週月曜日(月曜日が祝日の場合開館、翌日火曜日が休館)

祝祭日の翌平日

- ・所在地 猪苗代町大字蚕養字沼尻山甲 2855-173
- ・電話 (0242) 64-2575

	1回券	回数券(11回綴り)
町内(60歳以上)	200円	2,000円
小学生まで	250円	2,500円
その他	500円	5,000円

